社会資本総合整備計画(防災・安全交付金)

平成２８年３月７日

計画の名称	大仙市を支える安全・安心な下水道施設の構築（防災・安全）			重点計画の該当	
計画の期間	平成28年度～平成32年度（5年間）	交付対象	大仙市		

計画の目標

下水道施設における事故の未然防止及びライフサイクルコストの最小化を図り、住民に安全・安心、継続的な下水道サービスを提供する。

計画の成果目標(定量的指標)

長寿命化計画に基づき改築・更新が必要な下水処理場の電気・機械設備等に対し、改築更新した設備割合の増加。

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値 (H28当初)	中間目標値 (H30末)	最終目標値 (H32末)	
下水道施設の長寿命化計画に基づく改築・更新実施率 長寿命化計画に基づき改築・更新を実施した設備数／長寿命化計画に基づき改築・更新を実施する必要がある設備数（６５施設）	1.5%	58.5%	100.0%	

全体事業費	合計 (A+B+C+D)	342 百万円	A	342 百万円	B	0 百万円	C	0 百万円	D	0 百万円	効果促進事業費の割合	0.0%

交付対象事業

A　基幹事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市町村名	事業実施期間(年度) H28	H29	H30	H31	H32	全体事業費（百万円）	個別施設計画策定状況	備考
1-A1-1	下水道	過疎	大仙市	直接	－	汚水	改築	管渠調査（大曲地区）	ｶﾒﾗ調査　L=1,000m	大仙市	■	■				6.00	－	
1-A1-2	下水道	過疎	大仙市	直接	－	汚水	改築	管渠の長期的な改築事業計画策定（大曲地区）	計画策定	大仙市			■			17.00	－	
1-A1-3	下水道	過疎	大仙市	直接	－	汚水	改築	管渠改築工事（大曲地区）	汚水管 φ250　L=1,000m	大仙市				■	■	100.00	－	
1-A1-4	下水道	過疎	大仙市	直接	－	処理場	改築	刈和野浄化センター（長寿命化対策）	機械・電気設備等更新	大仙市	■	■	■	■	■	51.00	策定済	
1-A1-5	下水道	過疎	大仙市	直接	－	処理場	改築	強首浄化センター（長寿命化対策）	機械・電気設備等更新	大仙市		■	■	■	■	44.00	策定済	
1-A1-6	下水道	過疎	大仙市	直接	－	処理場	改築	協和中央浄化センター（長寿命化対策）	機械・電気設備等更新	大仙市	■	■	■	■	■	124.00	策定済	
													合計			342.00		

B　関連社会資本整備事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容（延長・面積等）	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費（百万円）	個別施設計画策定状況	備考
													合計			0		

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考

C　効果促進事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費（百万円）	個別施設計画策定状況	備考
													合計			0.00		

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考

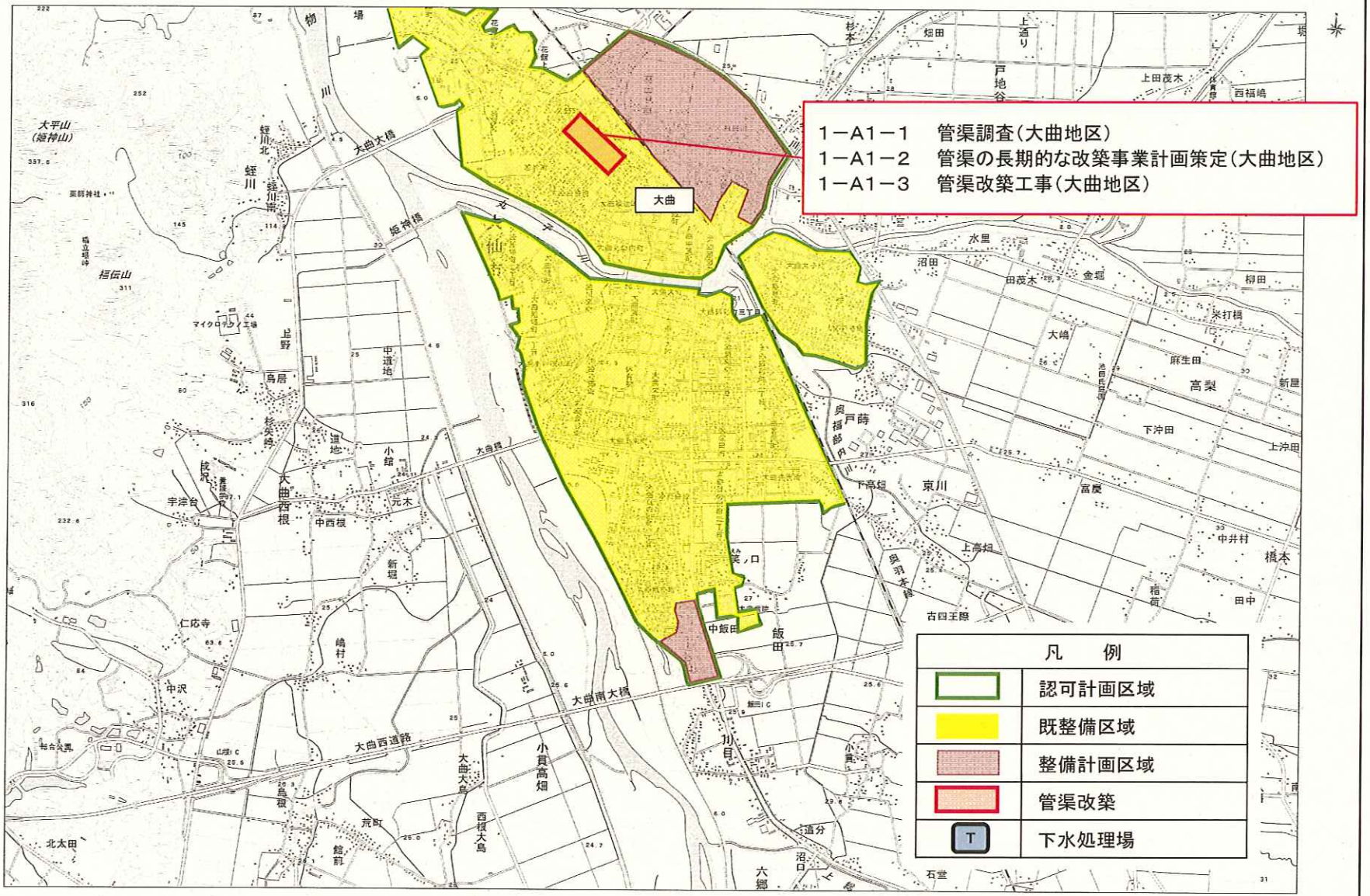
D　社会資本整備円滑化地籍整備事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（面積等）	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費（百万円）	個別施設計画策定状況	備考
D-1														0.00		

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考

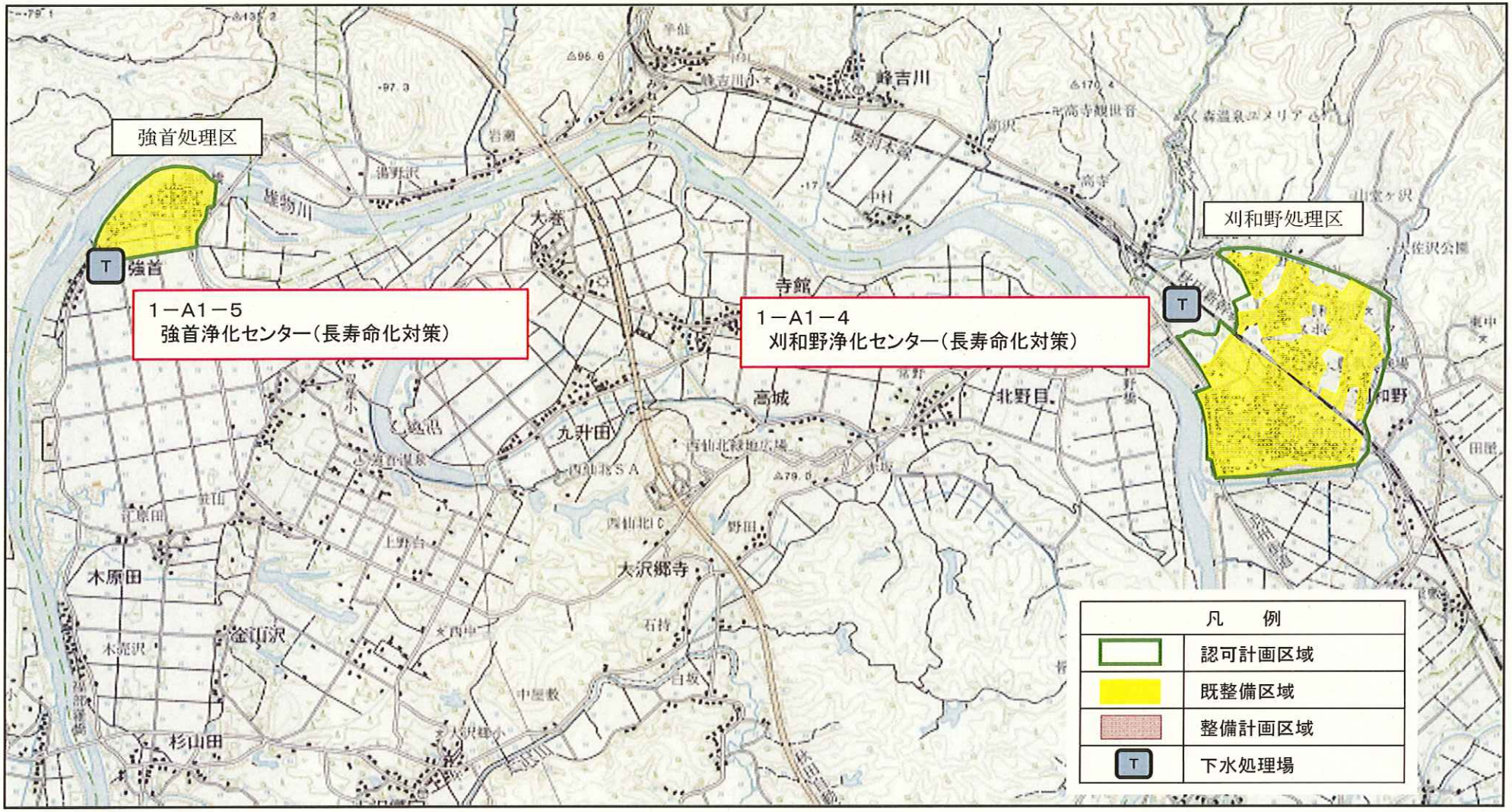
防災・安全交付金

計画の名称	大仙市を支える安全・安心な下水道施設の構築（防災・安全）		
計画の期間	平成28年度　～　平成32年度　（5年間）	交付対象	大仙市（大曲処理区大曲地域）



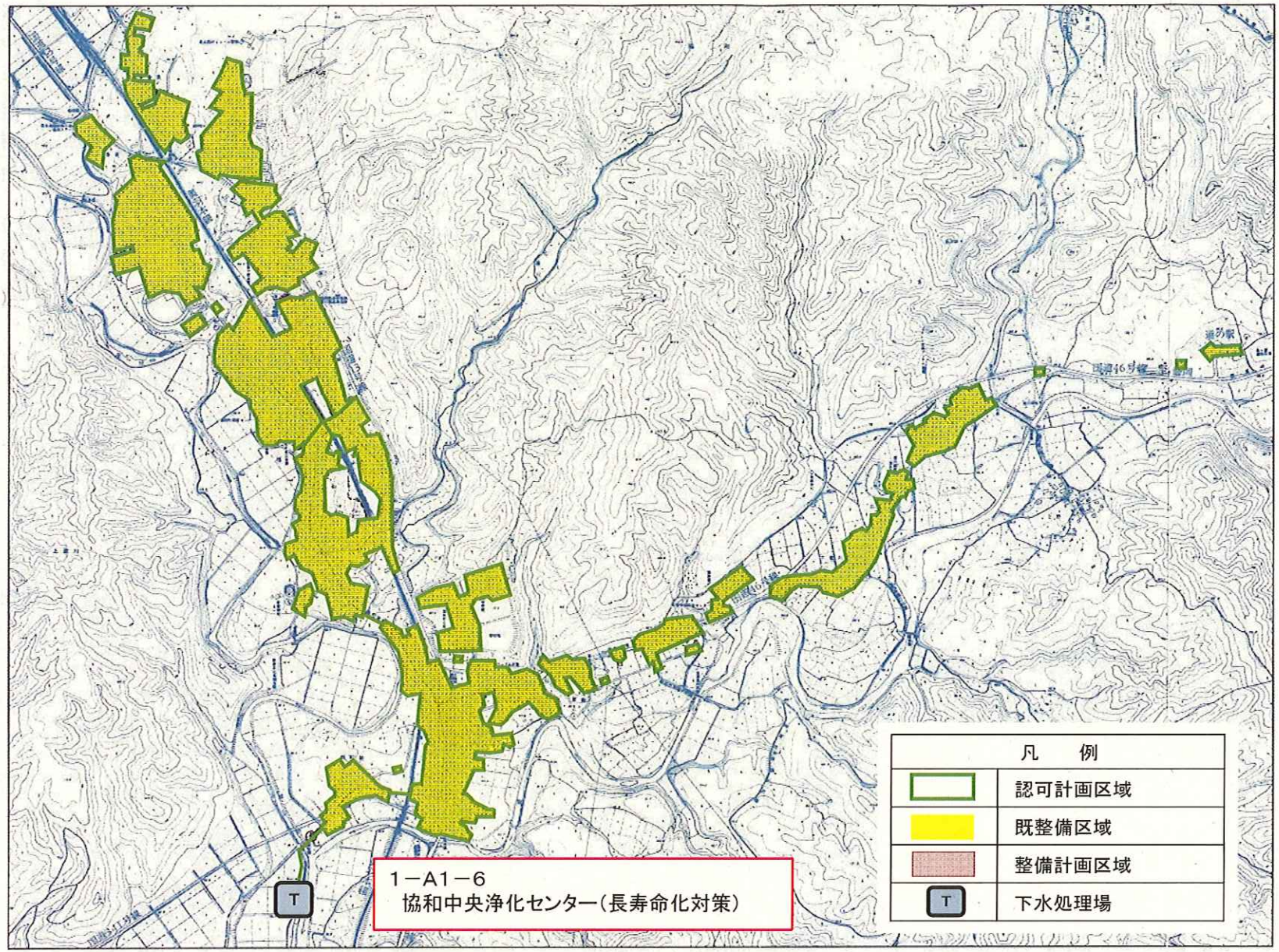
防災・安全交付金

計画の名称	大仙市を支える安全・安心な下水道施設の構築（防災・安全）		
計画の期間	平成28年度　～　平成32年度　（5年間）	交付対象	大仙市（刈和野処理区・強首処理区）



防災・安全交付金

計画の名称	大仙市を支える安全・安心な下水道施設の構築（防災・安全）		
計画の期間	平成28年度　～　平成32年度　（5年間）	交付対象	大仙市（協和処理区）



社会資本整備総合交付金チェックシート

（防災・安全社会資本整備交付金）

計画の名称：大仙市を支える安全・安心な下水道施設の構築（防災・安全）　事業主体名：大仙市

	チェック欄
Ⅰ．目標の妥当性	
①上位計画等との整合性	
1）計画の目標が上位計画等と適合している。	○
2）地域の課題を踏まえた目標が設定されている。	○
Ⅱ．計画の効果・効率性	
②目標と事業内容の整合性等	
1）目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
2）指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
3）指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
4）目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
③事業の効果	
1）十分な事業効果が確認されている。	○
Ⅲ．計画の実現可能性	
④円滑な事業執行の環境	
①計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
②事業実施のための環境整備が図られている。	○
③関連する機関との調整が図られている。	○
⑤地元の熱意	
④事業に向けた機運がある。	○
⑤継続的な事業の展開が見込まれる。	○